

第16回地球環境シンポジウム プログラム

【2008/8/25 修正版】

開催日：平成20年8月30日（土）、31日（日）

開催場所：岡山大学環境理工学部棟
（岡山市津島中 3-1-1）

1日目（8月30日（土））

【第2会場（104号室）】

9:50-10:00 開会挨拶（委員長）

10:00-12:30 企画セッション 「土木学会における地球温暖化問題への取組」
（座長：松岡譲／京都大学）

環境工学委員会	藤原拓（高知大学）
環境システム委員会	川原博満（環境情報科学センター）
水工学委員会	山下隆男（広島大学）
海岸工学委員会	横木裕宗（茨城大学）
海洋開発委員会	柵瀬信夫（鹿島建設株式会社）
エネルギー委員会	清水隆夫（電力中央研究所）
コンサルタント委員会	真鍋章良（復建調査設計株式会社）
土木計画学研究委員会	室町泰徳（東京工業大学）
地球環境委員会	米田稔（京都大学）

14:30-15:30 招待講演1 「自然と人為—中国の歴史から」
総合地球環境学研究所 木下鉄矢教授

15:40-16:40 招待講演2 「森林生態系の炭素固定プロセスと炭素固定量の評価」
岡山大学大学院環境学研究科 山本晋教授

【ポスター・パネル展示会場（211, 212号室）】

13:30-14:30 【ポスターセッション・パネル展示I】

【懇親会会場（大学生協）】

17:30-19:30

2日目 (8月31日(日))

【第1会場 (101号室)】

9:00-10:20 【水資源・水環境】(座長：荒巻俊也／東洋大学)

- A-01 全球水資源評価における家庭・工業用水取水量の将来推計式の相互比較
花崎直太, 増富祐司, 高橋潔, 肱岡靖明 (国立環境研究所)
- B-01 アジアで使用された農薬の北極域への移動に関するモデル解析
西森基貴, 小原裕三 (農業環境技術研究所), 魏永芬 (岐阜大学)
- A-02 高効率光触媒による水処理システムの研究
奈良松範, 折井優仁, 赤沼雄介 (諏訪東京理科大学)
- B-02 琉球史跡の水環境
山口晴幸 (防衛大学校)

10:30-11:50 【土砂管理・土砂災害】(座長：山下隆男／広島大学)

- A-03 LANDSLIDE SUSCEPTIBILITY ANALYSIS USING QUANTITATIVE
METHOD WITH GIS FOR MOUNTAINEOUS ROAD
Cheki Dorji, 柴山知也 (横浜国立大学)
- A-04 将来気候モデルを用いた土砂崩壊リスク評価
川越清樹, 風間聡, 沢本正樹 (東北大学)
- A-05 淡路島吹上浜の砂浜面積・汀線の経年変化
宇野宏司, 柿谷茂貴, 辻本剛三, 柿木哲哉 (神戸市立工業高等専門学校),
出口一郎, 有田守 (大阪大学)
- B-03 自然度・防災度に注目した大規模地形改変工事地域周辺の複合評価
大野剛, 石野和男, 藤原靖 (大成建設株式会社)

13:20-14:40 【海洋・沿岸環境】(座長：都筑良明／日本学術会議・島根大学)

- B-04 八重山地方のサンゴ礁保全に向けた民間資金の確保に関する研究
宮本善和, 成瀬研治 (中央開発株式会社)
- B-05 電着を利用したサンゴ成長促進技術
木原一禎 (三菱重工鉄構エンジニアリング株式会社),
鯉渕幸生, 三浦ゆきこ (東京大学), 近藤康文 (株式会社シーピーファーム),
後藤大 (日本防蝕工業株式会社), 石川光男 (石川技術士事務所)
- A-06 Modeling of the role of tideland in eutrophication reduction in Mikawa Bay,
Japan
グスティ・アユ・アンガラ・カシ, 北田敏廣 (豊橋技術科学大学)
- A-07 Application of the early diagenesis model to Ago Bay sediment, Japan:

Comparison of the sediment characteristics between two observation sites

グスティ・アユ・アンガラ・カシ（三重県産業支援センター），
千葉賢（四日市大学），山形陽一，清水康弘（三重県科学技術振興センター），
原口浩一（三重県産業支援センター）

14:50-16:25【大気・熱環境】（座長：藤原健史／岡山大学）

- A-08 ACF(Activated Carbon Fiber)装着フェンスによる沿道 NO_x 濃度の軽減：通風性と除去反応性の影響評価
長野誠，北田敏廣（豊橋技術科学大学），下原孝章（福岡県保健環境研究所），
神崎隆男，市川陽一（電力中央研究所），吉川正晃（大阪ガス株式会社）
- B-06 高活性炭素繊維を充填した通風式フェンスの NO_x 除去性能に関する風洞実験による解明
神崎隆男，市川陽一（電力中央研究所），北田敏廣（豊橋技術科学大学），
下原孝章（福岡県保健環境研究所），吉川正晃（大阪ガス株式会社）
- B-07 大気化学輸送モデルを用いた排出量インベントリのキャリブレーション法の開発
柳千絵，倉田学児，松岡譲（京都大学）
- B-08 日本における大気中粒子状有害物質の挙動
太田幸雄（北海道大学），石田晃祥（札幌市役所），
村尾直人，山形定（北海道大学）
- A-09 ジャカルタにおける都市拡大と旧市街地の昇温との関係について
東海林孝幸（豊橋技術科学大学），Asep Sofyan（バンドン工科大学），
北田敏廣（豊橋技術科学大学）

【第2会場（104号室）】

9:00-10:20 【温暖化影響1】（座長：米田 稔／京都大学）

- A-10 大規模河川下流域を対象とした海面上昇による氾濫リスク推定のための基礎的分析
桑原祐史（茨城大学），郡司美佳（東北大学），
横木裕宗，三村信男，小柳武和（茨城大学）
- A-11 気候変動に伴う洪水・氾濫リスクの将来予測－那珂川・久慈川流域における解析－
横木裕宗（茨城大学），戸村達也（日本水工設計株式会社），
塙尚幸，桑原祐史，三村信男（茨城大学）
- A-12 六つの異なる海面水温場を境界条件としたタイムスライス実験で得られたアジア沿海の海上風および波浪場の変化
佐々木亘（海洋研究開発機構），栢原孝浩（防災科学技術研究所）
- A-13 九州地方における地球温暖化による高潮浸水リスクの変化
鈴木武（国土技術政策総合研究所）

10:30-11:50【温暖化影響 2・地球環境】（座長：倉田学児／京都大学）

- A-14 温暖化政策支援モデルのための県別ブナ林影響関数の開発
高橋潔（国立環境研究所），松井哲哉（森林総合研究所），
肱岡靖明（国立環境研究所），田中信行（森林総合研究所）
原沢英夫（国立環境研究所）
- A-15 気候予測の不確実性を考慮した近未来の気候変化がアジア域の水稲生産量に及ぼす
影響及びその適応策の評価
増富祐司，高橋潔，原沢英夫（国立環境研究所），松岡譲（京都大学）
- A-16 マーシャル諸島マジュロ環礁における地形変化過程に関する現地調査と数値計算
佐藤大作，横木裕宗，桑原祐史（茨城大学），茅根創（東京大学），
三村信男（茨城大学）
- B-09 地球地図第1版の完成とその利用
梶川昌三，中川勝登，筒井俊洋，赤塚太，鶴生川太郎（国土地理院）

13:20-14:40【温暖化緩和策・予測】（座長：松本亨／北九州市立大学）

- A-17 低炭素社会に向けた都市空間のマネージメントー通勤交通からの CO₂ 排出削減ー
奥田隆明（名古屋大学）
- A-18 都市間旅客交通部門における排出権取引の影響分析
奥田隆明（名古屋大学）
- A-19 将来の食料生産に由来する CH₄ と N₂O の排出量に関する研究
長谷川知子，松岡譲（京都大学）
- A-20 生産量および技術の変化を考慮した鉄鋼生産にともなう CO₂ 排出量の長期的推計
明石修（国立環境研究所），我部山彰則（農林水産省），松岡譲（京都大学）

14:50-16:25【持続可能社会・途上国問題】（座長：奥田隆明／名古屋大学）

- B-10 都市域縮退策による環境負荷削減可能性検討のための推計システム
後藤直紀，柴原尚希，加知範康，加藤博和（名古屋大学）
- B-11 持続可能な地域社会の物的構成ー2008年夏バージョンー
水谷潤太郎（日本上下水道設計株式会社）
- B-12 中国における廃家電発生量の推計とリサイクルの展望：山東省を対象としたケース
スタディ
松本亨，鶴田直（北九州市立大学），江崎隆史（佛教大学）
- A-21 STUDY ON SWOT ANALYSIS FOR PROMOTING OF PPP IN URBAN
ENVIRONMENT INFRASTRUCTURE IN CHINA
薛咏海，松本亨，劉娟（北九州市立大学）

B-13 途上国におけるバイオエタノール生産プロジェクトの影響評価手法の検討ーパプア
ニューギニアにおけるケーススタディー
荒巻俊也, 齋藤香菜子, 花木啓祐 (東京大学), 入江光輝 (筑波大学)

16:25-16:40 【表彰式・閉会式】

【ポスター・パネル展示会場 (211, 212 号室)】

11:50-12:20 【ポスターセッション・パネル展示 II】

ポスター発表論文一覧

- B-14 関東地方における二次粒子汚染対策による健康便益の評価
村尾直人, 丸藤ゆう紀, 真田あすみ, 太田幸雄, 山形定 (北海道大学)
- B-15 空港島建設による底質環境の変化
梅村麻希, 八木明彦 (愛知工業大学)
- B-16 気候変動による降水特性変化がもたらす水需給バランスへの影響検討
多田智和, 土屋修一 (国土技術政策総合研究所)
- A-22 愛知県豊田市における詳細土地被覆情報の取得と熱環境解析への適用に関する研究
大西暁生 (総合地球環境学研究所), 森杉雅史 (名城大学),
村松由博 (中央コンサルタンツ株式会社), 井村秀文, 林良嗣 (名古屋大学)
- B-17 流域圏を視点にしたクーリング容量の試算と GIS の活用
大西文秀 (株式会社竹中工務店)

パネル展示・技術紹介題目一覧

- P-01 絶滅の恐れがある沈水植物の埋土種子による再生
大成建設株式会社, 千葉大学
- P-02 地域環境シミュレーターの実用化に関する産学連携研究
駒口友章, 三島豊秋 (碧浪技術研究所),
山下隆男, 李漢洙, Haggag Mohammed (広島大学)
- P-03 安全・安心を目指した廃棄物最終処分場
清水建設株式会社
- P-04 樹上動物のためのアニマルパスウェイに関する研究と実績
アニマルパスウェイ研究会
- P-05 地球温暖化対策に関する支援内容
建設技術研究所
- P-06 地域生態系に配慮した都市インフラ計画技術
～エコロジカルネットワーク評価およびシミュレーション技術の開発～
鹿島建設株式会社
- P-07 KAISUI 外断熱システム～地球温暖化に対応する新しい外断熱システム～
海水化学工業株式会社
- P-08 持続可能社会に向けた地域エコ技術研究 ～岡山市からの発信～
岡山市エコ技術研究会

第 16 回地球環境シンポジウム発表の準備

このたびは第 16 回地球環境シンポジウムに発表申し込みをいただき、誠にありがとうございました。口頭発表、ポスター発表、パネル展示について発表の要領をお知らせします。

(1) 口頭発表

1) 発表方法について(口頭発表)

- ・ 1 件あたりの発表時間は次の通りです。

全文審査論文 (A 論文)	発表 15 分、質疑応答 5 分
アブストラクト審査論文 (B 論文)	発表 12 分、質疑時間 5 分

- ・ 会場にはノートパソコン(WindowsXP, Powerpoint2003)とプロジェクタを用意します。
- ・ Powerpoint ファイルは、USB メモリまたは CD-R でご持参下さい。各セッションの開始 15 分前までに会場においでいただき、インストールして下さい。
- ・ 持参のパソコンの接続は原則としてできません。もし発表の中でデモ等を行うために持参パソコン接続の必要がある場合には、事前にご連絡下さい。

(2) ポスター発表

1) ポスター・パネル展示場

岡山大学環境理工学部棟 (岡山市津島中 3-1-1)

2 F の 210 号室と 211 号室の予定です。

ポスター発表は、パネル展示と同時間、同室で行います。

2) ポスターセッションの日程

- ① 8 月 30 日(土) 13:30~14:30 (1 時間、コアタイム)
8 月 31 日(日) 11:45~13:15 (1 時間 30 分、昼食中も含む) の展示にご協力願います。
- ② 1 日目は企画セッションや特別講演のみの来場者、2 日目は発表会のみの来場者がいると考えられますので、なるべく両日とも展示ください。

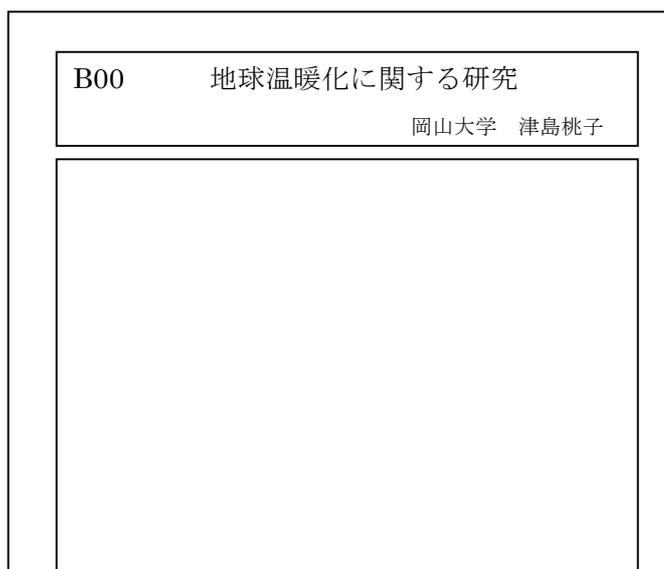
3) ポスター掲示と撤去時間

- ①ポスターの掲示は 8 月 30 日(土) 9:30~12:00 の時間帯にお願いいたします。
- ②ポスターはご本人がお持ちください。(郵送での受取りはできません)

- ③撤去作業は 8月30日(土) 15:30~17:00、あるいは
8月31日(金) 14:00~16:00の時間帯にお願いいたします。

5) ポスターの大きさ、掲示スペース

- ①A0サイズ(横841mm×縦1189mm)でポスターを作成してください。下図のようにポスターの上段部において、1行目左寄せで論文番号、中央にタイトル、2行目右寄せで著者名を記入してください。



- ②A0サイズの貼れるボードを用意します(横900mm×縦1200mm)。ボードへの貼り付けは、こちらで用意する画びょう、テープなどで固定して下さい。

6) ポスター・パネル展示会場での説明

説明者は来場者に展示内容を説明して下さい。

8月30日は13:30からですが、昼食後すぐに展示会場に来場される方がいるので、早めに説明のご準備をしてください。

8月31日は30分ですが昼食中も含めて1時間半の説明をお願いします。(ただし8月31日の説明は義務ではありません)

(3) パネル展示

1) ポスター・パネル展示場

岡山大学環境理工学部棟 (岡山市津島中 3-1-1)

2 F の 211 号室と 212 号室の予定です。

パネル展示は、ポスター発表と同時間、同室で行います。

2) パネル展示の日程

① 8 月 30 日 (土) 13:30~14:30 (1 時間、コアタイム)

8 月 31 日 (日) 11:45~13:15 (1 時間 30 分、昼食中も含む) の展示にご協力願います。

② 1 日目は企画セッションや特別講演のみの来場者、2 日目は発表会のみの来場者がいると考えられますので、なるべく両日とも展示ください。

3) パネル展示物搬入・撤去

① 搬入・設置は 8 月 30 日 (土) 9:30~12:00 の時間帯にお願いいたします。

② 当日は搬入路の混雑が予想されますので、早めの搬入をお勧めします。

③ 受取人がいない状態で、展示物等を直接会場へ送付することをご遠慮下さい。前日 8 月 29 日 (金) 午前の配達時間指定による送付のみ受け取りますが、その場合は「700-8530 岡山市津島中 3-1-1 岡山大学環境理工学部内地球環境シンポジウム実行委員会」宛てとして下さい。(29 日 (金) 午後以降に到着の展示物は受取の保証をしかねます)

④ 撤去作業は 8 月 30 日 (土) 15:30~17:00、あるいは

8 月 31 日 (金) 14:00~16:00 の時間帯にお願いいたします。

4) パネル展示物

展示物は下記の展示スペースに収まっていれば必ずしもパネルになっていなくても結構です。たとえばポスター、複数に分けた説明書、パソコン、ビデオモニター、資料などをお使いいただけます。電源が必要な場合は、事前に末尾の「問い合わせ先」までご相談下さい。

5) パネル展示スペース

① A0 サイズが貼れるボード (横 900mm×縦 1200mm) を用意します (1 スパン)

② 1 発表につきパネル 2 枚を使用できます (2 スパン)

③ ボードへの設置は、こちらで用意する画びょう、テープなどで固定して下さい。フレームに入ったパネル固定用に長いピンも用意します。

④ 事前に申し出のあった場合には、テーブル (横 120cm, 高さ 70cm 程度) を用意しています。ここにはサンプル、資料 (配布用)、パソコン、ビデオモニター等を置くことができます。電源が必要な場合は、必ず事前にご連絡下さい (電気容量には制限があります)。

6) 経費

展示物 (パソコン、ビデオモニター等を含む)・配布物、それらの搬入・搬出費用および設置・説明のためにおいでいただく方の費用は出展者で負担してください。

7) パネル展示概要のシンポジウムでの口頭説明

本年度は時間の制約で概要説明はありません。来場者は時間になりましたら直接展示室に向かいます。

8) パネル展示会場での説明者

説明者は来場者に展示内容を説明して下さい。

8月30日は13:30からですが、昼食後すぐに展示会場に来場される方がいるので、早めに説明のご準備をしてください。

8月31日は30分ですが昼食中も含めて1時間半の説明をお願いします。(ただし8月31日の説明は義務ではありません)

9) 有償の書籍等の販売

当会場での有償の書籍などの販売行為は禁じられています。必要な場合はその場での販売は行わず、たとえば申込書のみを受け付ける等の方法をお取り下さい。

10) 地球環境技術賞・貢献賞の授与式について

地球環境問題の解決に貢献する土木・環境技術と活動に関する展示に対して、それぞれ「地球環境技術賞」「地球環境貢献賞」が授与されます。シンポジウム2日目の閉会式でこれらの賞の受賞者の発表とその授与式が実施されますので、あわせて御出席頂けますようお願い申し上げます。なお、受賞対象者には31日(日)13時頃までにその旨ご連絡いたしますので、必ずご出席頂けますようお願い申し上げます。

第 16 回地球環境シンポジウム参加のご案内

◎日時・場所

開催日：平成 20 年 8 月 30 日（土）、31 日（日）

開催場所：岡山大学環境理工学部棟

（岡山市津島中 3-1-1）

◎プログラム

添付のプログラムをご覧ください。

最新情報は次の地球環境シンポジウムホームページをご覧ください。

<http://www.jsce.or.jp/committee/global/index.htm>

◎申込方法

・参加費

一般 7000 円、学生 4000 円（論文集および講演集代を含む、事前申込制）

・定員

200 名

・申込方法

学会誌綴じ込みもしくは土木学会ホームページ内「本部行事参加申込書」
<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf> に参加者お一人につき 1 枚にて必要事項
をご記入のうえ（特に行事コード番号）下記「参加申込先」までお申込みください。
申込書到着後、10 日前後にて折返し「参加券」などをお送りいたします。

なお、土木学会個人会員のみ下記ホームページより参加申込可能です。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※申込みに関してお願い

(1)申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。
なお、締切日以降の事前受付はいたしません。

ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。

(2)申込み後、やむを得ずキャンセルをされる場合は、必ず開催日の 1 週間前までに「問合せ先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。

(3)参加費のお支払いが、金融機関経由の場合は請求書到着後 1 ヶ月以内にお支払ください。

なお、申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固く

お断りいたします。

(4)テキストのみご希望の場合は、行事終了後に下記「問合せ先」までお問合せください。

・参加申込先

FAX : 03-3355-5278 【受付専用】

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目

・問合せ先

行事担当：土木学会研究事業課 佐々木

TEL : 03-3355-3559 【研究事業課直通】

◎会場へのアクセス



※バスの場合は岡大西門で下車し、徒歩が良い

■岡山まで航空機利用

- 岡山空港から岡電バス又は中鉄バス「岡山市内方面」行に乗車、「岡山大学筋」で下車、環境理工学棟まで徒歩約 20 分（約 45 分）
（ ）内は、岡山空港からの合計所要時間の目安です。

■岡山までJ R利用

- J R 岡山駅東口から「17」系統の岡電バスで「岡大東門」下車、徒歩約5分（合計約20分）

時刻表（土日）8時5分、27分、49分、 9時11分

J R 岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大北口」あるいは「津島東3丁目」下車、徒歩約3分（合計約25分）※これらのバス停は上図には記載されておりませんが、岡大の北側道路にあります（環境理工学棟の北側）。大学の通用門をお入りください。

時刻表（土日）8時5分、23分、41分、 9時2分

J R 津山線「法界院駅」下車、徒歩約10分

■岡山まで山陽自動車道利用

- 岡山 I Cで降り、岡山市内方面へ国道53号線を直進、右手に岡山県総合グラウンドの木々が見え始めたら約600メートルで岡山大学筋があります。左折すれば岡山大学に着きます。

◎会場近辺のホテル

- 東横イン 岡山駅西口右（大学までバス10分）

〒700-0026 岡山市奉還町1-12-4

TEL : 086-253-1045 FAX : 086-253-1046

チェックイン-16:00、チェックアウト-10:00



- 東横イン 岡山駅西口広場（大学までバス10分）

〒700-0024 岡山市駅元町22-10

TEL : 086-251-1045 FAX : 086-251-1047

チェックイン-16:00、チェックアウト-10:00



- 他にも、岡山駅前にホテルグランビア岡山 (086-234-7000)、岡山全日空ホテル (086-898-1111)、大学近辺に岡山リーセントカルチャホテル (086-253-2233) などがあります。岡山大学へのアクセスなどを確認してご予約ください。